



たもんのこ



令和7年4月25日
認定こども園
世田谷区立多聞幼稚園
園長 山路 智之

3年保育 新しい多聞幼稚園のスタート

副園長 藤田 雅美

園庭の若葉が毎日大きくなり、新緑のまぶしい季節となりました。3歳児18名、4歳児30名を迎え、100名近くの保護者の皆様と賑やかにスタートした入園式から早くも3週間が経とうとしています。年長くじら組の24名は、3歳児らっこ組、4歳いるか組両学年の新入園児を迎え、大勢のお兄さんお姉さんとして身支度の手伝い、歓迎会(なかよし対面式)の計画、遊びの中でも積極的にかかわっています。

3歳児クラスでは、小さな年少組の大きな意欲に驚かされます。支度も片付けも「自分でやりたい」という気持ちでいっぱいです。今週より給食が始まり幼稚園での楽しみがまた一つ増えました。朝はお家の方と離れることが不安な子もたくさんいますが、室内に入れば魅力的な遊具があり、やさしい先生がいて、幼稚園が楽しい場所だということが徐々に分かってきているようです。

4歳児クラスでは入園式翌日から給食が始まり、徐々に生活のリズムが定着しつつあります。大勢の友達の中で戸惑うこともありましたが、室内の遊具をテラスへ運んで遊んだり、砂場や固定遊具での遊びを楽しんだり徐々に行動範囲を広げています。今週はクレパスやのりを使つての製作を初めて行いました。作ったこいのぼりを嬉しそうに手に持ち、先生や友達と一緒に園庭を走っています。少しずつ自分の気持ちを表現しながら先生との信頼関係を築いているようです。

歳児は、大きなこいのぼりを作ろうとグループ製作の真っ最中です。3～4人の友達と、こいのぼりの色やうろこの形を相談して決めながら製作をしています。相談の中では、自分の考えを友達に伝えること、友達の意見を聴くこと大切にしていますが、考えはすぐにはまとまりません。「相談って大変だなあ」と子どもたちの呟きが聞こえてきます。また、作業の中では、星形が思うように描けず、何度も消しゴムで消しては描き直す中で、「あきらめたくなっちゃうよ。でも、あきらめたくないんだよ」と奮闘する子どもの姿が印象的でした。このような場面で大人が方法を教えたり手伝ったりすることは簡単ですが、担任はそこをぐっと堪え、最後には「できたよ!」「楽しかったね!」と、子どもが自分の力で乗り越えた実感が得られるよう側で見守りながら応援していました。

新年度が始まり一つ一つ初めてのことを経験する子どもたち。時には困難なことに会える場面もあります。それを面白さ、自信へと変えながら大きく成長して欲しいと願っています。たくさんのもことやこと、人との出会い、経験が広がるよう環境を整えていきます。何か心配なことがありましたら、いつでもお声掛けください。一緒に子どもたちの成長を支えていきましょう。

今月、各学年で、大切にしたいこと

《 年 少 》

- 所持品の始末や身支度の方法が分かり、教師と一緒にしようとする。
- 教師と一緒に安心できる場所や自分の好きな場所で遊ぶことを楽しめるようにする。

《 年 中 》

- 好きな遊びを見つけて、楽しめるようにする。
- 生活の仕方が分かり、できることは自分でしようとする。

《 年 長 》

- 自分なりの目的をもって遊んだり、友達と思いを出し合いながら遊んだりすることを楽しめるようにする。
- 栽培物の生長に関心をもてるようにする。